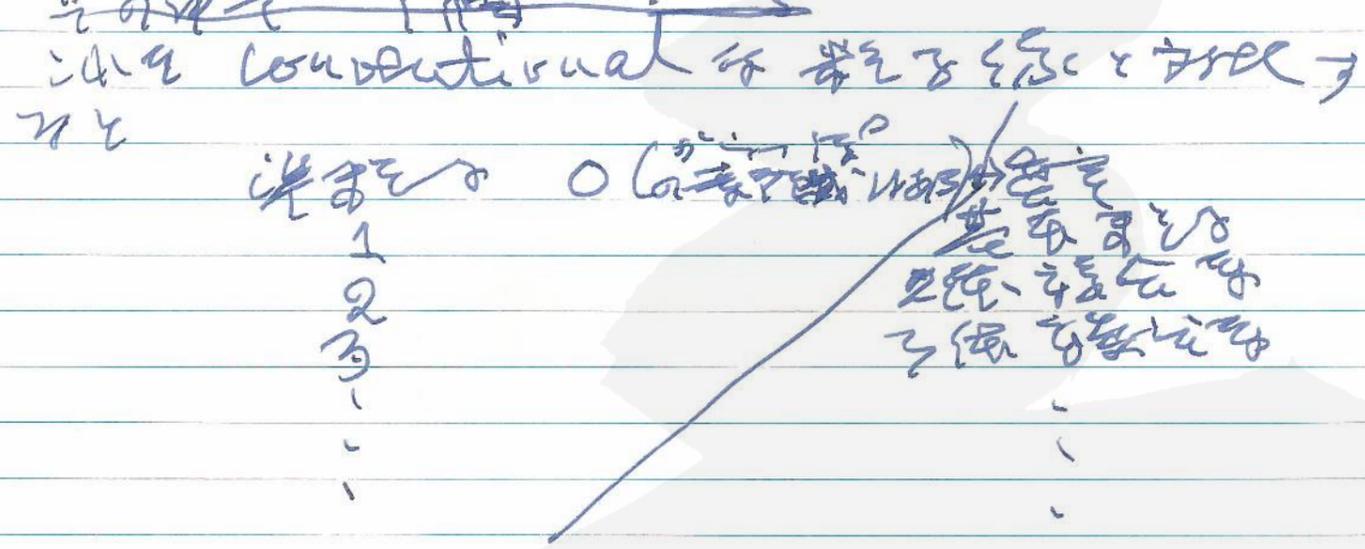


(2)
 このからつぎの粒は、その重なり
 かつた粒子として、生成(粒子)と同一
 粒の重なりを消す消滅の粒子
 であり、素領域に半粒子
 emission として $\psi = \psi^\dagger$ となる。
 粒子の重なりを消す消滅の粒子
 からつぎの粒は、1個、2個...
 の半粒子 ψ かつた粒子の重なりを
 消す $\psi^\dagger = \psi$ となる。



生成 $\psi = \psi^\dagger$ と、素領域の ψ の $\psi = \psi^\dagger$ と
 Lorentz 変換によって変化する。しかし、
 からつぎの粒の生成・消滅の

$$e^{-u^{\mu\nu}/\zeta^2} \Psi(x_{\mu\nu}, V, \zeta^2)$$

 であり、Lorentz 変換によって $e^{-u^{\mu\nu}/\zeta^2}$ の
 形がかわる...